

■西河通徹 ジャーナリスト。各地の民権派新聞の創刊・主筆に東奔西走，新聞事業のために尽捧した。

にしかわつうてつ

松下村塾・・・1856＝ 宇和島藩覺明倫館の教授職西河謙一（梅庵）の第二子として生まれる。

桜田門外変・1860＝ 4歳：

幼少より父の訓育を受け，

薩摩藩士密航1865＝ 9歳：

ついで藩覺に学び，

明治維新・・・1868＝12歳：

廃藩置県・・・1871＝15歳：伊予の碩儒上甲振洋の謹教堂に入門して教えを受く。

明治6年政変 1873＝17歳： 上京，慶応義塾に入って英学を学び，自由民権の思想をもって{東京曙新聞}{朝野新聞}に多く投書する。

佐賀の乱・・・1874＝18歳：

初の民間工場1875＝19歳： 上{朝野新聞}の投書により，

三つの内乱・1876＝20歳： 懲役3ヵ月罰金50円の刑に処せられ，東京鍛冶橋監獄に入獄。出獄後は，

西南戦争・・・1877＝21歳 *松山{海南新聞}主筆を皮切りに，各地の民権派新聞の創刊に与かり，その政治的主張を紙上に，また演説会において披瀝し民論を指導して行く。

松山中学校長を務めた後，

・・・1880＝24歳： {信濃毎日新報}主筆，

明治14年政変1881＝25歳： 千葉{総房共立新聞}に招かれて局長，

新体詩抄・・・1882＝26歳： {自由新聞}に入社，{山形毎日新聞}に招聘され滞在1年。

岩倉具視没・1883＝27歳：

秩父事件・・・1884＝28歳： {秋田日報}に転じて論説を担当，

内閣発足・・・1885＝29歳： 京都{中外電報}記者，ついで{絵入朝野新聞}に入社して論説を担当した。

初の対等条約1888＝32歳： *東京の芝愛宕町に私塾戊子英学館を開く。

帝国憲法発布1889＝33歳： {大阪公論}に入社して論説と翻訳を担当。{秋田魁新報}に社長格で招聘され，のち，{政論}新聞記者。

帝国議会始・1890＝34歳： {関西日報}主筆，

大津事件・・・1891＝35歳： 廃刊となる。

大本教・・・1892＝36歳： {門司新報}の主筆に招かれ，のち大阪発行の{新浪華}の主筆を兼務。

日清戦争始・1894＝38歳： {福陵新報}主筆，

日清戦争終・1895＝39歳： 上{大阪朝日新聞}{東京朝日新聞}両紙の京城通信員として渡韓し，わが国の対韓策について数多くの通信論述が紙面を飾る。

田中正造直訴1901＝45歳：

上義侠率直の人で，東奔西走して新聞事業のために尽捧し，

日露戦争終・1905＝49歳：

満鉄発足・・・1906＝50歳： *職を辞して帰郷，自適の生活に入り，

韓国併合・・・1910＝54歳：

明治天皇没・1912＝56歳：

ベルサイユ条約・1919＝63歳：

原敬首相暗殺1921＝65歳：

共産党事件・1928＝72歳：

世界恐慌・・・1929＝73歳： 上没した。